■令和３年度執行目標（達成状況）　総務部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目（単位）	根拠計画等	R3年度実績値	R3年度目標値
総務部	総務課	1	**市役所本庁舎外壁等改修工事の実施**	公共施設等総合管理計画に基づき、市役所本庁舎の長寿命化に向けた外壁等改修工事を実施する。	一部未達成・成果小	コロナの影響に伴う部品の調達遅延等により繰り越すこととなった。令和4年5月中旬の完成を目指す。				
総務部	総務課	2	**市制１５周年記念式典の挙行**	市制１５周年記念式典を挙行し、本市の更なる飛躍に繋げていく。	概ね達成	コロナ収束が見通せない中、15周年記念式典は中止することとなったが、まちづくりを支えていただいた方々への謝意を示すため、表彰式及び感謝状贈呈式を開催した。 功績表彰：５９名　　感謝状：３団体				
総務部	総務課	3	**衆議院議員総選挙の適正な執行**	新型コロナウイルス感染拡大の収束が見込めないなか、本市初の選挙執行となる衆議院議員総選挙において、新たな生活様式への対応等も踏まえた適正な執行を行う。また、投票率向上に向け、新たな取組として、若年層の投票を啓発するためのインターネットターゲティング広告や投票所入場券裏面への期日前投票宣誓書の記載等の改善を図る。	概ね達成	前回の衆議院議員総選挙に比べ、投票率が4.1ポイント向上し、インターネットターゲティング広告や投票所入場券裏面への期日前投票宣誓書記載等については、一定の効果が得られた。 また、新型コロナウイルスワクチン接種との同時期での選挙執行となったが、投票所や従事者の調整、投票所等における新型コロナウイルス感染症対策についても大きな混乱もなく適切に執行できた。	衆議院議員総選挙投票率（%）		59.8	56
総務部	総務課	4	**電子決裁の導入**	行政事務のスマート化を図るとともに、庁内ペーパーレスの推進及び文書保存の効率化等も含め、電子決裁システムを導入する。	概ね達成	来年度のシステムの導入に向け、関係課による協議を進めた。				
総務部	危機管理課	1	**地区タイムラインの策定**	災害発生時の初動体制の確立、自主防災の組織化、自助・共助・公助の連携強化を基本とし、地域において水害等から自主的に早めの避難行動をとっていただくため、地区タイムラインの策定を進める。	概ね達成	令和３年度は５地区（木津町、鹿背山、法花寺野、神童子、椿井）においてタイムラインを策定。しかしながら対象となる自主防災組織は２２団体あり、策定率は２割であることから、自主防災組織連絡会等にて策定依頼を継続する。また、自主防災組織のない自治会においても個別にタイムライン作成を検討されている自治会もあることから、タイムラインの必要性等について、引き続き広報啓発等に取り組む。	地区タイムライン作成数（組織）		5	5
総務部	危機管理課	2	**防災士養成講座の実施**	令和２年度からの２か年で防災士１２０名を養成する計画だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講座開催要領を変更し、１年間延長の３年計画とし、地域防災力の強化を図る。	概ね達成	令和２年度からの継続事業として、自主防災組織からの推薦者のほか、広報紙・HPを中心に受講者を募集し、消防団員、市役所職員も含めた市全体の地域防災力の向上に向けて取り組んだ。令和４年度以降は、本事業以外で防災士を取得した方々の協力を得て、木津川市地域防災リーダー制度を創設することとし、各種訓練・会議等において、地域のリーダー的存在を目指す。	防災士養成講座受講者数（名）		53	48
総務部	財政課	1	**持続可能な財政基盤の構築**	今後一層厳しさを増す財政状況に対して、施策の選択と集中を行い、行財政改革行動計画・公共施設等総合管理計画に沿った取り組みを推進。	概ね達成	公共施設等総合管理計画に基づく事業（廃止（除却等）３件、機能廃止１件、新築等２件、耐震・長寿命化改修等３件）を推進。個別施設計画の時点修正にあわせ、これまでの計画実行による効果額算出や減価償却率の高い施設リスト作成を行った。 予算を構成する事業の統合再編を実施し、当初予算比較で令和３年度の４６１事業を令和４年度は３５２事業とし、事業数は１０９減。				
総務部	財政課	2	**市有財産の利活用の推進**	市有財産の有効活用に向けてさまざまな課題がある中、財産の種類・条件などに応じて取り組みを推進。	概ね達成	旧木津学校給食センター跡地活用に向け、解体費用の予算措置を行い、着工。用途を廃止した公用車は、インターネットオークション出品により６台を売払い、2,174,000円の収入を得た。川原田所在の土地開発基金保有土地は、買受人・借受人を募集したが応募はなく、その後会計年度任用職員雇用増加見込みのため、当面売払いを見合わせて職員駐車場としての活用とし、あわせて一般会計での買戻しを行った。	市有財産（土地・備品）売払件数		6	9
総務部	行財政改革推進室	1	**行財政改革・行動計画の推進**	第３次木津川市行財政改革大綱及び行動計画（アクションプラン）の計画期間が中間地点を折り返し残り２か年となる中、これまでの課題等を整理しながら改善に努め、計画の更なる進捗を図る。また、引き続き外部評価にも取り組む。 ・行財政改革の見える化（項目別の目標・進行計画の明確化、客観的評価に基づく取組状況など） ・情報共有による意識の向上（予算・決算、財政状況、財政指標の見方など）	概ね達成	合併算定替終了対策としては目標値を上回る結果となった。課題であった評価について、年度到達目標を明らかにし、その達成状況に基づく客観的評価へと見直すことで、行財政改革の見える化と職員意識の向上を図った。また、外部評価に取組み、３か年の実施結果を報告・公表した。その中で職員意識と説明責任能力の向上が期待されており、創意工夫しながら有効な手段を講じていく。	合併算定替終了対策額（億円）	第３次木津川市行財政改革行動計画	8	－
総務部	税務課	1	**事務執行の改善、効率化**	係内での研修を実施し、事務に対する問題点を共有するとともに、経験年数による差を軽減する。 膨大かつ複雑な地方税制度について、より理解を深めるべく庁外の税関係研修に積極的に参加する。 （庁外研修の成果は係内研修で発表し、係内全員に還元する。） 令和2年度から償却資産課税について共同化されたが、税機構業務が大幅に遅れた結果、課税事務に支障が生じた。改善に向け税機構と連携して取り組んでいく。	概ね達成	庁外の税関係研修にも積極的に参加し、研修内容を係内で共有することで理解を深めた。 令和３年度は償却資産課税共同化の初年度であり、税機構での処理に遅れがあったことから、申告書及び大規模事業所償却資産について本市で入力処理を行った。	係内・庁外研修（回）		16	20
総務部	税務課	2	**税外債権の適正化に向けた取り組み**	各債権の数値目標を設定しさらなる収納率の向上を図ることはもちろんのこと、強制徴収公債権については滞納処分（給与照会や預金照会等の財産調査の実施、差押え等）を実施する。また、債権管理条例に基づき適正な債権管理を行う。	概ね達成	督促や催告、時効の管理、不納欠損処理や税外債権管理指針に基づく運用など、債権の発生から消滅に至るまでのすべての過程において適正な事務処理を行えるよう努めた。今年度もコロナの影響により収納率は横ばいが見込まれる。引き続き、各債権の数値目標を設定し、収納率の向上を図ることはもちろんのこと、強制徴収公債権については滞納処分を実施する。引き続き債権管理条例に基づく適正な債権管理を行う。	税外債権全体収納率（%）	令和3年度債権回収基本計画	(88.8)	対前年度決算収納率を上回ること